

第11回 建設施工における現場作業支援のDXに関するWG

1. 日時

令和7年6月30日（月） 14:30～16:30

2. 場所

中央合同庁舎3号館11階インフラDXルーム

3. 出席者（敬称略） 参加 ○印：対面、W印：Web

<学識者委員>（五十音順、敬称略）

W小林泰三（立命館大、副WG長）、W建山和由（立命館大）、○永谷圭司（筑波大）、
○松尾亜希子（慶応大）、○油田信一（芝浦工大、WG長）

4. 議事

1. 第10回WGのフォローアップ

2. 令和7年度調査検討方針

- （1）パワーアシストスーツ（PAS）
- （2）XR技術
- （3）ドローン技術

<主な意見>

1. 第10回WGのフォローアップ

意見無し。

2. 令和7年度調査検討方針

（1）パワーアシストスーツ（PAS）

○PAS現場試験では下記に留意して試験するとよい。

- ・効果があった作業を優先する。
- ・効果測定にはアンケートのほか、バイタルデータ等の客観的データを組み合わせることも検討する。

○他分野でPASが適している作業について、建設分野に適用できるのか把握するとよい。

（2）XR技術

○普及の突破口とするため、活用できる場面を示すことが重要である。

○施工の中で効果のある活用方法を示すとよい。

(3) ドローン技術

○重量物の運搬等、新たな活用につながる技術動向を示すとよい。

●今後の予定について

○次回WGはR 8年2月頃を予定。

－以 上－